

# 北広島市公共施設等個別施設計画

## レクリエーション施設編

令和3年(2021年)3月

北広島市

## 目次

1	策定の背景と目的	1 ページ
2	個別施設計画の位置付け	1 ページ
3	計画期間	1 ページ
4	標準使用年数の設定	1 ページ
5	対象施設及び劣化状況	
	(1) 劣化状況の評価の基準	2 ページ
	(2) 対象施設及び劣化状況	2 ページ
6	個別施設に係る方針	
	(1) 個別施設の今後の方針に係る用語の定義	2 ページ
	(2) 個別施設の方針	2 ページ
7	対策の優先順位の考え方	3 ページ

### 個別施設計画シート

・林間学園研修棟（レクの森）	3 ページ
・自然の森キャンプ場（管理棟）	4 ページ

## 1 策定の背景と目的

平成 25 年 11 月に、国のインフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議において「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、各施設を管理及び所管する国や地方公共団体の各機関は、施設の維持管理、更新等を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにする計画として、「インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定することとされました。

このことを踏まえ、本市では、平成 28 年 6 月に行動計画にあたる「北広島市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設の適正管理に向けた基本方針等を定めたところであります。

本計画は、当該基本方針等に基づき、個別施設について、戦略的な維持管理、更新等を推進することを目的として策定するものです。

## 2 個別施設計画の位置付け

本計画は、国のインフラ長寿命化基本計画等において、地方公共団体が策定する公共施設等総合管理計画(行動計画)に基づき、個別施設毎の具体の対応方針を定める計画として示されている「個別施設毎の長寿命化計画(個別施設計画)」に位置付けるものです。

## 3 計画期間

計画期間は、令和 3 年度(2022 年度)から令和 12 年度(2030 年度)までの 10 年間とします。なお、社会情勢等によって公共施設等を取り巻く環境は、変化し得るため、必要に応じて計画内容の見直しを行うこととします。

## 4 標準使用年数の設定

施設の寿命を想定する指標としては、法定耐用年数が存在しますが、実際には、法定耐用年数を超えて使用する場合が一般的です。

そのため、今後の施設の維持、長寿命化等の目安として、物理的耐用年数に基づく標準使用年数を次のとおり設定し、個別施設の今後の方針を決める上での参考とします。

なお、設定の根拠として、(一社)日本建築学会の「建築物の耐久計画に関する考え方」を参考とし、中間値を採用します。

構 造	「建築物の耐久計画に関する考え方」の範囲	標準使用年数
RC 造(鉄筋コンクリート造)	50～80 年	65 年
SRC 造(鉄骨鉄筋コンクリート造)		
S 造(重量)(鉄骨造)		
CB 造(コンクリートブロック造) (SB 造(セラミックブロック造)は、CB 造に準じる。)	30～50 年	40 年
S 造(軽量)(鉄骨造)		
W 造(木造)		

## 5 対象施設及び劣化状況

本計画の対象施設は、(2)に掲げる施設であり、当該対象施設について、劣化状況の評価を行いました。劣化状況の評価の基準は、(1)に記載のとおりです。

### (1) 劣化状況の評価の基準

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

### (2) 対象施設及び劣化状況

No	施設名	建物概要							劣化状況											
		建築年度	① 経過 年数	② 標準 使用 年数	②-①	延床 面積 (㎡)	構造 種別	耐震 診断	耐震 化	地上 (階)	地下 (階)	屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上げ	電気 設備	給水 設備	排水 設備	空調 設備	その他 設備	外構
1	林間学園研修棟(レク森)	昭和59	37	40	4	148	W	新耐震基準	不要	1	0	B	B	A	B	A	A	B	A	A
2	自然の森キャンプ場(管理棟)	平成9	24	0	-23	106	W	新耐震基準	不要	1	0	B	B	B	B	B	B	B	-	-

## 6 個別施設に係る方針

### (1) 個別施設の今後の方針に係る用語の定義

存続	その施設を維持すること。
更新	その施設の建替え(移転、統合及び複合化による建替えを含む。)をすること。
廃止	その施設での行政サービスの提供を停止する。
統合	類似の行政サービスを提供している施設の機能を、その施設に集約する。
複合化	別の施設の異なる機能をその施設に集約する。

### (2) 個別施設の方針

個別施設に係る今後 10 年間の方針を次のとおりとします。なお、当該方針は、社会情勢等の変化や個別施設の劣化状況等の変化に応じて、適宜見直しながら取り組みます。

No	施設名	地区	基本的な方針	
1	林間学園研修棟(レクの森)	西の里	存続	昭和59年開設、築年数37年、令和元年度は302人の研修棟利用実績がある。老朽化部分については、修繕等をしながら現施設を維持していく。また、隣接地にボールパーク建設も決定したことから、今後の整備計画についても検討していく。
2	自然の森キャンプ場	西部	存続	平成9年7月に開設、平成24年度にトイレ大規模改修、平成28年度に管理棟照明修繕(LED化)、令和元年度には加圧給水ポンプの取替をしている。令和元年度は9,412人の利用実績があり、築年数24年になるが老朽化した部分は修繕等を行いながら現施設を維持していく。

## 7 対策の優先順位の考え方

対策の優先順位については、施設の役割、機能、利用状況等を考慮し、改修が必要な箇所の優先順位を考えるものとします。

## 個別施設計画シート

### 1 施設の概要

対象施設名	林間学園研修棟（レクの森）		延床面積	148 m <sup>2</sup>	
所在地	西の里番外地	建築年度	昭和59 年度（ 1984 年度）		
構造種別	W	階数	地上	1 階	地下 0 階

### 2 計画期間

令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)まで
---------------------------------

### 3 計画期間内の施設の基本的な方針等

方針	存続
説明	昭和59年開設、築年数38年、R元年度は302人の研修棟利用実績がある。老朽化部分については、修繕等をしながら現施設を維持していく。また、隣接地にボールパーク建設も決定したことから、今後の整備計画についても検討していく。
目標使用年度	2030年度まで

### 4 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

建築されて37年が経過し、屋根や外壁をはじめとした各所に劣化が見られる。
--------------------------------------

### 5 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

シルバー人材センターが委託を受けて管理を行っている。利用者が自然環境を楽しみ・親しみを持ってもらえるよう良好な施設管理・運営に努めており、令和元年度は302人の研修棟利用実績がある。市内の団体のみならず、市外の利用者も多く、北広島市の地域活性化に貢献しているため重要な施設である。
--

### 6 改修等の対策を実施する際に考慮すべき事項

市民が研修等に使用しやすいよう、トイレの洋式化などの対応が必要。 また、隣接地にボールパーク建設も決定したことから、今後の整備計画についても検討していく。
--

### 7 改修等の対策の優先順位の考え方

施設運営で劣化が著しくなった場合、この施設の役割、機能、利用状況等を考慮し、改修が必要な箇所から優先順位を考えるものとする。
--

### 8 改修等の対策内容、実施時期及び対策費用(概算金額)

実施予定年度	対策内容	金額
計画期間内		千円
		千円
		千円
		千円
		千円
		千円
計画期間外		千円
		千円
		千円
		千円
		千円

※この計画に記載の内容は、社会情勢等の変化、個別施設の劣化状況等に応じて、適宜見直ししながら取り組みます。

## 個別施設計画シート

### 1 施設の概要

対象施設名	自然の森キャンプ場（管理棟）	延床面積	106 m <sup>2</sup>
所在地	島松577番地1	建築年度	平成9 年度（ 1997 年度）
構造種別	W	階数	地上 1 階 地下 0 階

### 2 計画期間

令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)まで
---------------------------------

### 3 計画期間内の施設の基本的な方針等

方針	存続
説明	築年数24年になるが老朽化した部分は修繕等を行いながら現施設を維持していく。
目標使用年度	2037年度

### 4 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

開所から20年以上経過していることによる屋根の劣化、屋根付き炉場。 加圧式ポンプ等の劣化（応急修繕済み）
---

### 5 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

地元の町内会が運営委員会を構成し、利用者が自然環境を楽しみ・親しみを持ってもらえるよう良好な施設管理・運営に努めている。外国人やキャンプ慣れしている方にも人気の穴場となっており、リピーターも多く令和元年度には、過去最高の9,412人の利用実績となっており、北広島市の地域活性化に貢献しているため重要な施設である。
--

### 6 改修等の対策を実施する際に考慮すべき事項

利用者の気分を損なわないよう、不法侵入者・不法投棄をする違反者や熊出没など、監視・見回り業務の確保が必要である。
--

### 7 改修等の対策の優先順位の考え方

施設運営で劣化が著しくなった場合、この施設の役割、機能、利用状況等を考慮し、改修が必要な箇所から優先順位を考えるものとする。
--

### 8 改修等の対策内容、実施時期及び対策費用(概算金額)

実施予定年度	対策内容	金額
計画期間内		千円
		千円
		千円
		千円
		千円
		千円
計画期間外		千円
		千円
		千円
		千円
		千円

※この計画に記載の内容は、社会情勢等の変化、個別施設の劣化状況等に応じて、適宜見直しながら取り組みます。